

頼山陽史跡資料館 広島県立図書館 連携

[資料展示]

なんが いざな 南画への誘い

南画は、中国の南宗画なんしゅうがが日本に伝わり、独自の展開を遂げるなかで確立した絵画様式です。頼山陽を始めとする江戸時代の文人たちは、中国の文人の生き方に憧れ、世俗を超越した境地を目指して筆を揮い、数多くの南画作品を生み出しました。

広島県立図書館と頼山陽史跡資料館との連携資料展示「南画への誘い」では、江戸時代の文人の多くが参照した中国・清の絵画のテキストや彼らの画譜がふや絵巻、南画作成者たちの番付表などを、複製資料を交えながら紹介するとともに、関連する図書館資料の展示・貸出しを行います。

【展示期間】 令和3年3月13日(土)～5月22日(土)

【場 所】 広島県立図書館 開架室内展示コーナー



「頼山陽先生耶馬溪図巻真迹（竹下本）」複製版（一部抜粋）

広島県立図書館

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7番47号(広島県情報プラザ内)

電話 082-241-4971(ダイヤルイン)

休館日 毎週月曜日、3月20日(土)春分の日、4月29日(木)昭和の日、
5月3日(月)憲法記念日、5月4日(火)みどりの日、5月5日(水)こどもの日

開館時間 火～金 午前9時30分～午後7時 土・日 午前9時30分～午後5時

ホームページ <http://www2.hplibra.pref.hiroshima.jp/>



こちらからホームページを
ご覧いただけます

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 開館日及び開館時間に変更になる可能性があります。
詳細はホームページで御確認ください。